



CONTENTS

- P.1 トップインタビュー
- P.2 連結財務ハイライト
- P.4 トピックス
- P.5 連結財務諸表
- P.6 会社情報／株式情報

株主のみなさまへ

第67期 中間株主通信 2016年6月1日 ▶ 2016年11月30日

■ ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第67期中間株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援・ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。今後とも皆様のさらなるご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2017年2月

代表取締役社長 **金森 武**



当第2四半期の業績は
いかがでしたか。

売上高は前年同期比4.9%増、四半期純利益は32.7%の増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、外商事業における既存取引の拡大などが寄与し、273億66百万円（前年同期比4.9%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益は増加したものの、アメリカ店舗におけるLED照明導入に伴う経費増加などが影響し、営業利益は2億68百万円（前年同期比11.1%減）、経常利益は2億81百万円（前年同期比9.3%減）となりました。



各事業の業績・取り組みについて
説明をお願いします。

収益性の向上をめざし、各事業の取り組みを進めてきました。

外商事業では、前連結会計年度に獲得した新規得意先による増収に加え、既存得意先における取引拡大が寄与し、売上高は175億97百万円（前年同

期比7.7%増)となりました。当事業では、定期的な商品提案会におけるメニュー提案や大手外食チェーン、学校給食などに対する個別提案会の開催、効率的な物流体制の構築など、お客様の要望に適した商品・サービスの提供に努めております。これらの取り組みを通じ、納品エリアの拡大や新規アイテムの獲得など既存得意先との深耕を進め、売上高が伸長しました。

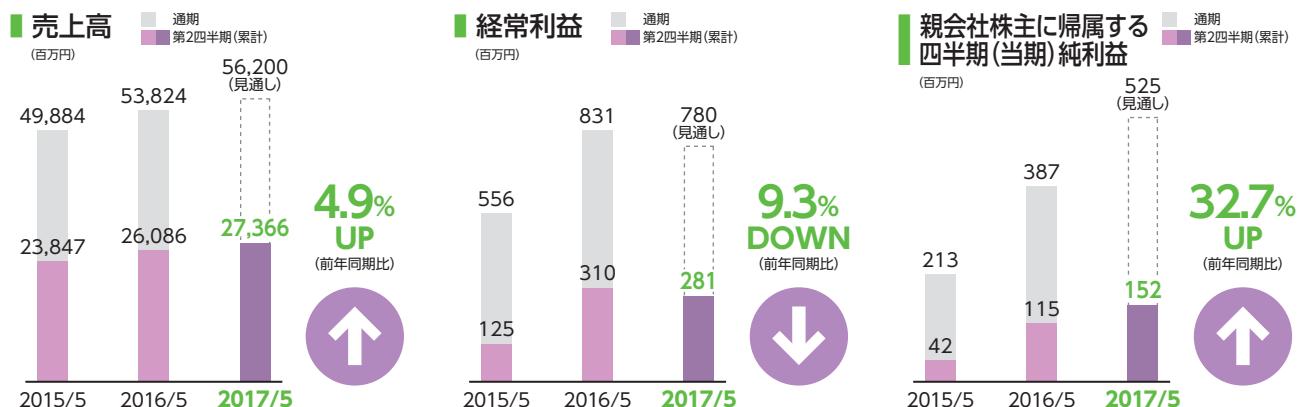
利益面につきましては、売上高の増加に伴い売上総利益が増加したことにより、営業利益は1億31百万円(前年同期比102.8%増)、前年同期に対し2倍超となりました。引き続き、配送や庫内作業の見直しなどによる物流費の抑制や、業務効率の向上による人件費の抑制など、経費抑制に向けた取り組みに注力し、さらなる収益向上をめざしてまいります。

アマカ事業では、原料価格下落に伴う販売価格低

下の影響などから売上高は89億45百万円(前年同期比0.6%増)となりました。ネットショップは前年同期比14.1%増と好調に推移しておりますが、既存店売上高は前年同期比1.1%減と前年同期を下回りました。利益面につきましては、アマカ店舗においてLED照明を導入したことに伴う経費の増加などにより、営業利益は6億73百万円(前年同期比1.8%減)と前年同期を下回りました。

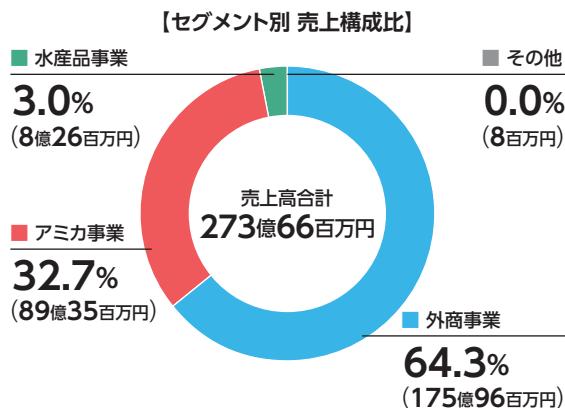
当事業では、これまで以上にお客様に支持いただける店舗をめざし、地域ごとに担当責任者を配置したエリア別管理を導入しています。担当責任者は地域特性や店舗状況を把握し、店舗ごとに品揃えや販売施策を見直しするなど、速やかに改善・対応できる体制としています。また、お客様の利便性向上を図るため、青果品の取扱い店舗を増加しており、今後も拡大していくことを計画しています。経費面で

連結財務ハイライト



は、LED照明導入による光熱費の削減や、発注システムの見直しによる業務効率の向上など、今後の収益改善を図った設備投資を行いました。

水産品事業では、新規開拓や既存取引の拡大、輸出版売の強化に注力してきましたが、売上高は8億66百万円（前年同期比4.0%減）、営業損失は71百万円（前年同期は営業損失23百万円）となりました。原料不足や販売価格低下の影響から厳しい結果となりましたが、国内における食品メーカーや水産会社との関係強化や、海外における新規得意先の開拓など、販路拡大に向けた活動に注力してまいりました。今後の業績改善に向けて、引き続き営業活動に注力するとともに、採算管理の徹底や経費抑制、グループ間の連携強化に努めてまいります。



(注) 1.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。
2. セグメント別の売上数値は、セグメント間の内部売上高等を除いた数値となります。



通期の業績予想はいかがですか。

**売上高562億円、当期純利益5億25百万円
過去最高益を計画しています。**

通期の業績につきましては、売上高562億円（前期比4.4%増）、営業利益7億60百万円（前期比6.9%減）、経常利益7億80百万円（前期比6.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益5億25百万円（前期比35.5%増）を計画しています。

売上高につきましては、外商事業における新規開拓や既存取引の伸長、アミカ事業における新規出店や販売施策、品揃えの充実化による来店客数の増加、水産品事業における新規開拓の強化など、各事業の取り組みを通じ増収を計画しています。

利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加を見込むとともに全社的に経費抑制に取り組み、着実に通期の計画を実行し過去最高益の更新をめざします。

当社グループは、3つの事業を通じ、お客様の満足度を高めることで、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

株主の皆様には、一層のご支援とご鞭撻を賜りませう、よろしくお願い申し上げます。

【配当金の推移】

	第65期 (2015年5月期)	第66期 (2016年5月期)	第67期 (2017年5月期)
第2四半期末	5円	5円	6円(実績)
期末	5円	6円	6円(予想)
年間	10円	11円	12円(予想)

TOPICS 1

社会貢献活動 QUOカードを寄付

当社では、アマカ商品券と交換されたQUOカードを東日本大震災等の復興支援に役立ててもらうため、アシスト（ジャパン）の会を通じて被災地へ寄付いたしました。アシスト（ジャパン）の会は、東北福祉大学特任教授、白鷗大学名誉教授、県立広島大学客員教授である福岡政行氏が事務局長を務める慈善団体であり、宮城県の仮設住宅向けにQUOカードを届けるなど支援活動にご活用いただいています。



▲ 宮城県登米市の仮設住宅にて行われたイベントの様子



▲ アミカ豊田店の蓋付冷凍ショーケース

TOPICS 2

省エネルギーへの取り組み LED照明・蓋付冷凍ショーケースを順次導入

地球温暖化の原因となるエネルギー消費を抑制するため、アマカ店舗にてLED照明、蓋付冷凍ショーケースの導入を進めております。LED照明は、白熱電球などに比べて消費電力が少なく、放熱も非常に少ないことから空調負荷を軽減し、電力使用量の削減につながります。蓋付冷凍ショーケースについては、冷気の放出を抑制することで、ショーケースの保冷や室内保温に係る空調負荷の軽減、電力使用量の削減につながります。今後もこれらの取り組みを推進し、省エネルギー運動に貢献していきたいと考えております。

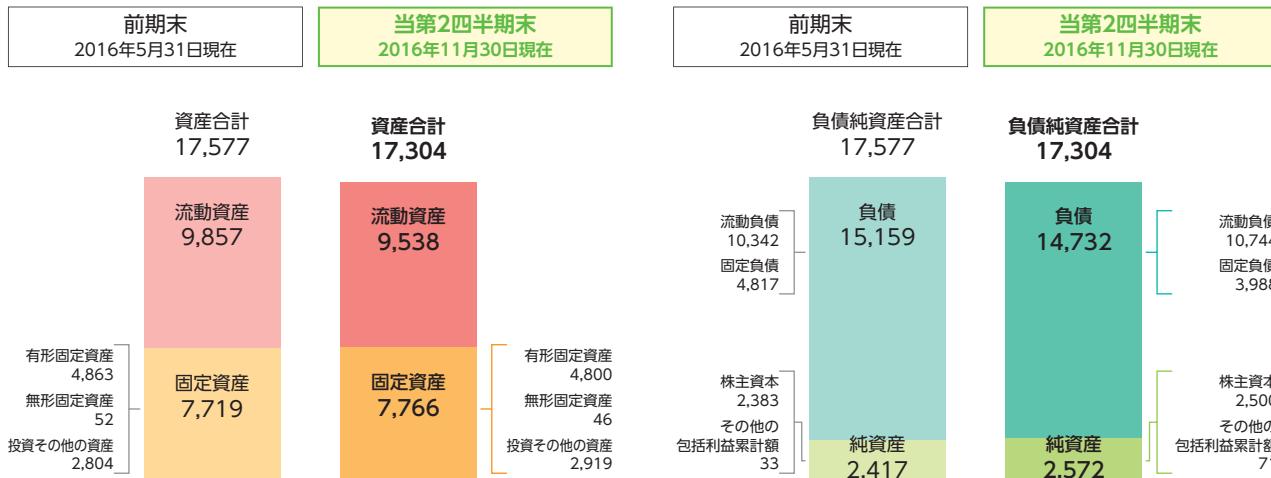
連結財務諸表

詳細情報は

<http://www.oomitsu.com/ir/>

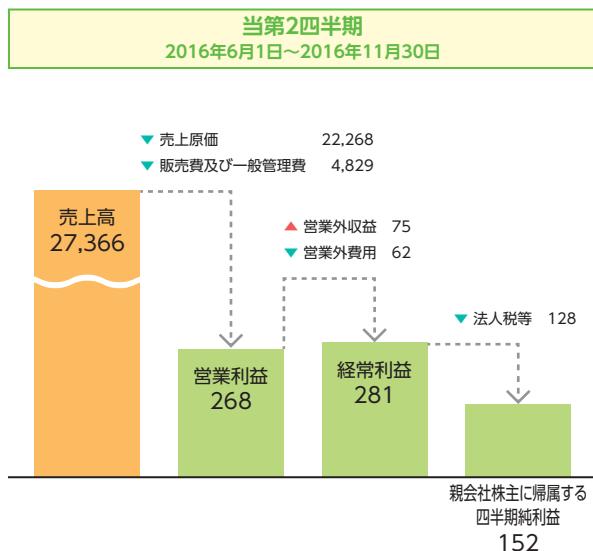
連結貸借対照表の概要

(百万円)



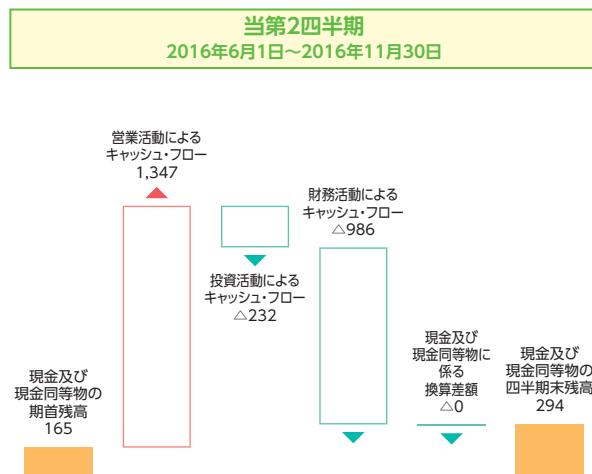
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



会社情報 / 株式情報

会社概要

2016年11月30日現在

商号	株式会社大光
本社所在地	岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
創業	1948年(昭和23年)6月
設立	1950年(昭和25年)12月
資本金	4億7,503万円
事業内容	食品卸売業及び食品小売業
連結従業員数	893名(内パート・アルバイト401名)
子会社	株式会社マリンデリカ

株式の状況

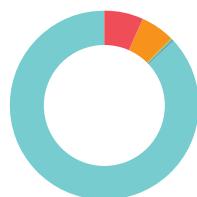
発行可能株式総数	15,360,000株
発行済株式の総数	6,021,600株(自己株式を含む)
株主数	9,068名(自己株式を含む)

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
金森 武	1,280,000	21.61
金森 久	584,000	9.86
大光従業員持株会	444,600	7.50
金森 智	360,000	6.07
株式会社大垣共立銀行	290,000	4.89
倭 雅美	136,000	2.29
株式会社トーカン	120,000	2.02
大光取引先持株会	83,300	1.40
株式会社十六銀行	80,000	1.35
株式会社ニチレイフーズ	60,000	1.01

(注) 1. 当社は、自己株式100,004株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、個人・その他に含めております。

役員

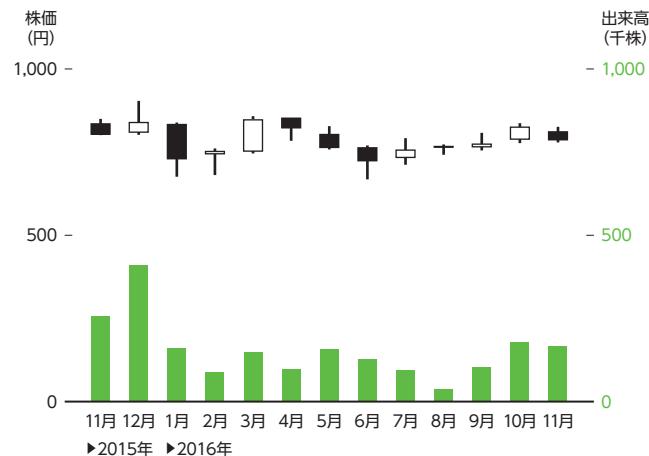
2016年11月30日現在

代表取締役社長	金森 武	取締役	藤澤 浩
専務取締役	倭 雅美	取締役	高橋 章夫
専務取締役	金森 久	取締役	小林 秀幸
常務取締役	秋山 大介	取締役	今井 敦司*
常務取締役	伊藤 光	社外取締役	吉村 有人*
		社外取締役	前川 弘美*

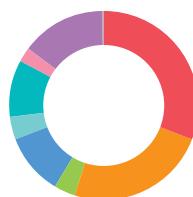
*は、監査等委員

2016年11月30日現在

株価チャート



所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日 定時株主総会の基準日 毎年5月31日
期末配当金の基準日 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号0120-782-031(フリーダイヤル)

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや店舗情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



TOPページ

IR情報を
クリック

IR情報ページ



<http://www.oomitsu.com>



〒503-0947
岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
TEL: 0584-89-7777
FAX: 0584-89-7333



PROJECT-
With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCOは
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(償還)しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ること、ならびに株主優待制度を通じた当社事業への理解促進を図ることを目的として株主優待制度を設けております。



当社から株主様へQUOカードをお送りします。当社からお送りするQUOカードを未使用の状態当社アマカ店舗へご持参いただきました株主様には、QUOカードを倍額の「アマカ商品券」に交換させていただきます。

1 対象株主様

毎年5月末日現在及び11月末日現在の当社株主名簿に記録された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。(それぞれ8月下旬、翌年2月中に発送予定)

2 優待の内容

所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	▶ QUOカード500円分またはアマカ商品券1,000円分
500株以上1,000株未満	▶ QUOカード1,000円分またはアマカ商品券2,000円分
1,000株以上	▶ QUOカード2,000円分またはアマカ商品券4,000円分



〒503-0947
岐阜県大垣市浅草二丁目66番地
TEL: 0584-89-7777
FAX: 0584-89-7333



PROJECT-
With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCOは
PROJECT- With the Earth を
通じてオフセット(償還)しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。